

# あ あ す TIMES

2017年6月 No.25号  
特定非営利活動法人 地域福祉会 ああす  
〒658-0051  
神戸市東灘区住吉本町1丁目24-27  
Tel 078-385-0530 fax 078-843-6861  
発行人 細谷 禮三

## NPO 法人地域福祉会ああす 第22回通常総会開催

5月24日(水)特定非営利活動法人地域福祉会ああすの第22回通常総会が開催され、2016年度の活動のまとめと2017年度方針を、圧倒的多数の賛成で承認しました。また、任期満了に伴う役員(理事、監事)の選任を行いました。



### 地域での連携と 職員の成長が図られた1年

2016年度の取り組みの特徴は、地域包括ケアが具体化される中、認知症・高齢者・ターミナル・家族支援など困難事例を断らず支援し続け、行政やあんしんすこやかセンターなどとの連携が図れたこと。

育成委員会の発足で、ああすの目指す理念の見直し、パンフレットの改定に取り組むと共に、研修会、学習会を旺盛に取り組み職員の成長をはかってきたこと。

サービス提供責任者会議の運営を改善することで各自の自覚が高まり、防災マニュアルを完成させるまでに成長したこと。こうなんとすみよしの事業所統合で、サービス提供責任者や職員が、自らを向上させモチベーションが上がりチーム力がアップしたことなどが報告され承認しました。

経営面では、介護員不足の中、調整がつかず新規利用者を断るケースもあり、予算達成には至りませんでした。経費も低く収まり、役職員の奮闘で黒字決算となったことが報告され承認しました。

### 地域から信頼される事業所に

2017年度方針は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、最後まで自分らしく暮らしていける地域づくり、利用者のニーズに即した医療・介護・生活支援サービスが確実に届けられるような「ネット



ワーク」を構築する年度とすること。介護予防(要支援1、要支援2)の利用者が順次「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行していく中、利用者に不利益がないように、生活支援、介護予防の体制整備に取り組み、実践を通して地域から信頼される事業所に発展していくこと。などを重点課題とすることが決議されました。

### 表彰された永年勤続職員

5年勤続	平田 恵 (こうなん)
〃	長谷川 瑞恵 (こうなん)
10年勤続	佐藤 由佳子 (本部事務局)
〃	田辺 英子 (こうなん)
15年勤続	川井 和喜子 (生田北)
〃	成田 伊智子 (灘)

### 選任された役員

理事長	細谷 禮三	副理事長	長谷川 歩
事務局長	村上 次郎	介護部長	藤原久美子
介護副部長	沖本 章子		
理事	岩佐 建洋	理事	藤原 みゆき
理事	馬詰 牧子	理事	山口 飛鳥
理事	大江 幸子	理事	山本 智文
理事	川井 和喜子	理事	渡邊 順子
理事	高松 範明	理事	渡邊 節子
監事	岩崎 政己	監事	中村 明

### 【訃報】

ああす発展のためご尽力頂いた竜田副理事長が  
5月23日ご逝去されました。 合掌

**あさす学習会**（当号紙面記載は医薬研究所開催編）

## 認知症を学び地域で支えよう！

2017年3月3日（金）18:30～20:00

以下施設2ヵ所で同時開催

①神戸医薬研究所 3F 会議室 18名参加

②ふきあいの郷（1F 地域交流スペース）12名参加

講師 東灘区キャラバン・メイト 伴 淑子氏

講師 中央区キャラバン・メイト 木倉いつ子氏

3月3日（金）18:30 から開催された地域福祉会あさすの学習会は、「神戸市認知症研修」（認知症サポーター養成講座）の実施の研修です。

認知症とは・・・ 認知症はこわくない！  
周辺の支え合いが大切！  
本人を傷つけない！など

## DVDで支え合う絆を鑑賞！

高齢化社会・認知症と予備軍の増大する今日、安心安全で住み続けられる街づくりの取り組みは、全国的な普及課題となり、地域・諸団体・近隣のサポート体制も前進しています。

認知症研修の主旨講座は、認知症でも安心して暮らせる街づくり、にあり、認知症とはなにか、中心的な症状（中核症状）ひずみのある知的機能の低下で日常生活が維持できない症状、記憶力・時間・場所・思考・判断力・などと同様に副次的な症状を把握することは介護者としては大切であり、症状とは味覚・嗅覚・感覚障害・幻覚・妄想・不安・挫折・意欲・自発性の低下などがあり、講者説明においても日常介護における重要な関わりを話します。

認知症の方を見守り、プライドを守り、正面から接し、ゴミ出しの詳細説明の姿勢など、笑顔で暮らせる近隣のサポーターの必要性を訴える。

明日は我が身か！  
聞き入る講義も明日に備えて！  
（医薬研究所 会場）



## サポーター講座 テキスト編・・・

心理的介護・家族が悩まされる副次的症状！

講者親近者の長年の介護の苦悩と葛藤の経験から自身が「**役者になる**。」と自問し、家庭内の不和諍いを通じて介護の苦行を経験から語る。

明日は我が身・誰でも起こる病気???

親近者の介護は制度改悪・公的扶助の粗悪・などの煽りから、家庭内介護に矛盾が生じ、争い諍いが

激化し、感情優先が最大の問題となってきます。

認知症を取り巻く家族介護の現状は、心理的介護の重要性を欠き、医学的介護・看護学的介護は大切ですが、このことをよく知らなければ、本当の良い介護を知り、何を感じ、何を望み、どうしてもらおうことを願っているのかは出来ない。



## 役者になるまでの苦悩と葛藤！

これまで述べてきた講者の咀嚼した介護の経験談は、経年の一文であっても凌駕した受講者には心にとどく研修講座でした。

## 認知症を学び地域で支えよう！

後半講座は、養成講座テキストを活用し、認知症とは・診断・治療をはじめサポーターとしての意義役割支え合う姿勢を修得し、地域における街づくりに貢献しうる事項を研修しました。

認知症の人と家族の気持ちを理解し、見守り・声かけ手助けをする  
**今日からサポーター**  
熱心にメモを取る受講生も真剣そのもの！  
（医薬研究所 会場）



## 同日時開講

認知症サポーター養成講座  
**ふきあいの郷・会場**  
1F 地域交流スペース

サポーターの知技を習得し、笑顔満載でゲームに興じる受講生のみなさん！  
（ふきあいの郷 会場）



「**認知症サポーターです**」  
心で支援！腕に「**応援者**」の  
「**オレンジ・リング**」で行動！



# ああす 全体学習会

## 第8回事例検討発表会

日時：2017年4月28日(金)18:30~19:30

場所：医療研究所3階

参加者：34名



### <プログラム>

- ・寝たきりのSさんに私たちが出来る事とは  
こうなん事業所・発表者 山下マキさん
- ・プライドが高く人を寄せ付けない利用者  
灘事業所・発表者 渡辺順子さん
- ・まだそんなにボケてないから大丈夫を支える  
こうなん居宅事業所・発表者 沖本章子さん
- ・ちょっと個性的なおっちゃん  
中央事業所・発表者 大澤良子さん
- ・独居の認知症の利用者に訪問介護で出来る事  
生田事業所・発表者 松田泰美さん

毎年タネが尽きない事例発表、職員の利用者への関わりかたの工夫がよくわかります。発表者の言葉に、そうそう、うんうんのリアクション。一緒に問題を共有し、意見交換し、回を重ねるごとに職員のスキルアップを感じる事例発表となりました。



## 食中毒・感染症予防

日時：2017年5月26日(金)18:00~20:00

場所：医療研究所3階

参加者：21名

毎年、必須の食中毒・感染症の学習会。今回は、育成委員会企画の全員参加型の学習会。灘事業所の渡辺所長、生田事業所の松田サ責の初めての進行で緊張の中、グループワーク形式で行いました。また藤原部長、準備のパワーポイントも使用し、これまでの学習会とはちょっと変わったものになり、各グループもランダムに職員がチームとなり初顔合わせの挨拶もあり和やかな中、食中毒、感染症についての原因・危険・予防の原則・6つのポイントなどまた、事例を通して活発な意見がありました。繰り返しの学習が、確実に意識、知識に。学習会終了後「とっても楽しくあっという間に時間が過ぎていた」「思っていた事、感じた事、ちょっと違うかな？の意見が言えた」等々の声が聞けました。渡辺所長、松田サ責 お疲れさまでした。



食中毒、感染症についての原因・危険・予防の原則・6つのポイントなどまた、事例を通して活発な意見がありました。繰り返しの学習が、確実に意識、知識に。学習会終了後「とっても楽しくあっという間に時間が過ぎていた」「思っていた事、感じた事、ちょっと違うかな？の意見が言えた」等々の声が聞けました。渡辺所長、松田サ責 お疲れさまでした。

毎年タネが尽きない事例発表、職員の利用者への関わりかたの工夫がよくわかります。発表者の言葉に、そうそう、うんうんのリアクション。一緒に問題を共有し、意見交換し、回を重ねるごとに職員のスキルアップを感じる事例発表となりました。

パソコンサークル  
1年半でこの  
腕前！参加者募集

ああす8月全体学習会

テーマ：権利擁護・虐待防止



日時・会場

8/16(水)医療研究所 18:30~20:30  
8/17(木)医療研究所 14:00~16:00  
8/18(金)ふきあいの郷 18:30~20:30

講師：育成委員会メンバー  
7/15(土)までに、参加会場を事業所に提出してください。

## 学術運動交流集会に参加

メインテーマ

「繋ぐ未来を守る暮らしを民医連から！」

～住続けられる街づくりのための地域包括

ケア実践の輪を広げよう～

2017年2月26日（日）10:00～

神戸国際会議場・アリストンホテル

兵庫県民主医療機関連合会（第42回）



去る2月26日（日）開催された兵庫民医連主催の学術運動交流集会が神戸国際会議場・アリストンホテルの会場で開催され、医療・介護・福祉に関わる分野から運動の成果と問題点を明らかにし、明日への飛躍を交流する活動報告・検討の場に参加しました。

地域福祉会あさす参加者

長谷川 歩 副理事長

藤原久美子 介護部長

村上次郎 事務局長



参加主眼の目的は、16分科会の演題から・・・

今後の介護・福祉事業の一体化の視点から、地域包括ケアの基本である地域における生活実態の取り組み。とりわけ高齢者のニーズ・団体・自治体などの連携の推進と、地域包括ケアが地域の共同の課題としての視点から活動の進展を学



び、訪問介護事業所の理念の実践と、連携の教訓を活動に実現させる。

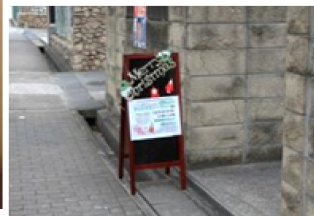
地域包括ケアの演題の他は、医療・介護の安全・質の向上・そして第4分科会の育成・管理運営・等の分科会に参加しました。

午後には「日本国憲法の耀く社会に～民医連の活動と憲法～」をテーマに久保田貢氏（愛知県立大学教育福祉学部准教授）から、憲法の理解が何故



必要か、私たちの日々の医療・介護の実践と結びつき確信となるお話がありました。

# やえちゃんち



## 地域の拠点！

### 居場所から、お内裏様とお雛様！

♪ 灯りを点けましょ雪洞に♪♪・・・

弥生3月2日（木）野の花サロン「喫茶」でひな祭りが行われました。



## “おうす”をいっぱいどうぞ

かわいい雛飾りを皆で手作り。ボランティアの方々も、着物を着てひな祭りの雰囲気満載。

“おうす”と京菓子をわいわい言いながら楽しく頂きました。養護老人ホームから男性の方も来られ、女性に囲まれにこにこ笑顔。「女性はやっぱり華やかでいいですね～」



認定NPO法人認知症予防ネット神戸

## 認知症予防講演会

テーマ：『認知症と共に暮らせる社会』

～もし、あなたが認知症になったとき  
どこで・誰と暮らしたいと思いますか～

講師：上野秀樹 先生

千葉大学医学部附属病院  
地域連携部特任准教授

日時：2017年9月10日（日）  
午後2時開演（1時30分開場）

会場：コープこうべ生活文化センター  
ホール

参加費：500円 ●定員300名